

教育課程企画特別部会「論点整理」

- 各教科等を学ぶ本質的意義の捉え直し
- 各学校段階における各教科等で育成すべき資質・能力の整理
- 目標・内容の検討
- 学習のプロセスの検討
- 目標に準拠した評価の観点の検討 など

特別支援教育を取り巻く現状

- インクルーシブ教育システム構築の進展を踏まえ、連続性のある「多様な学びの場」における児童生徒の十分な学びの連続性を確保していく観点から、小・中学校等と知的障害のある児童生徒のための**各教科の関連性の整理、教育課程の円滑な接続**が求められている。
- 中学校特別支援学級卒業者のうち高等部への進学者数の割合
…64.3%（H26.3卒業者）

特別支援教育部会（第7回）の意見

- 「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」の適用をする際、小学校等と知的障害のある児童生徒のための各教科の連続性をどのように捉えたらよいか、現場の悩みがある。
- 児童生徒が通常の学級、特別支援学級、特別支援学校などと、多様な学びの場で学習する現状もあり、連続性のあるカリキュラムを追求していく必要がある。
- 各教科の教育内容を保障することを前提としながら、自立活動に「替える（指導の方向性を変更する）」という手続きや判断をどのように捉えたらよいか、現場の悩みがある。

小・中学校等の各教科との接続、小学部等の教育課程の連続性

改善・充実の方向性

■ 「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」を踏まえ、小・中学校等の教科と、知的障害のある児童生徒のための教科の考え方を整理

現行学習指導要領に示されている知的障害のある児童生徒のための各教科の目標及び内容等について、以下の視点から改訂してはどうか。

- （各教科で育成すべき資質・能力）小・中学校等の改訂に準じる。
- （各教科の目標）小・中学校等の改訂に準じる。
- （段階）各教科の各段階の領域ごとに目標を設定してはどうか。
 - ・小・中学校等の各学年の領域に対応した目標の系統性と関連づけた整理をしてはどうか。
 - ・1段階の目標については、2段階がめざす各領域の目標との系統性を考慮し、幼稚園教育要領に示されるねらいのほか、発達の初期段階に関する先行研究を参考に、具体的に整理してはどうか。
 - ・1段階の目標と自立活動の目標との関連や目標設定の手続き等を具体的に解説してはどうか。
- （内容）各段階の領域ごとに示された目標の系統性を踏まえながら、小・中学校等の学習指導要領に示されている内容との連続性に基づいて整理してはどうか。
 - ・小・中学校等の改善を踏まえ、領域などの表現や構成を整理してはどうか。
- （内容の取扱い）次のことについて、学習指導要領の「第2 指導計画の作成と各教科全体及び各教科の内容の取扱い」に明記してはどうか。
 - ・各学部で各教科の各段階の領域ごとに目標を設定した場合、既に各学部の段階の目標を達成している児童生徒のために、特に必要がある場合には、個別の指導計画に基づき、各学部に対応した学校段階までの学習指導要領を参考に指導できる、としてはどうか。
- （評価）小・中学校等の改訂に準ずる。

■ 小学校の改訂や教育課程の連続性を踏まえた特別支援学校（知的障害）小学部における外国語活動の導入についての検討

- ・外国語に親しんだり、外国の文化についての理解や関心を深めたりするため、児童の実態等を考慮の上、特に必要がある場合には、小学校における外国語活動を設定することができる、としてはどうか。

■ カリキュラム・マネジメントの考え方や検討の道筋について整理

- ・学習指導要領を踏まえて教育内容を明確にする段階、教育内容を踏まえて指導計画を作成する段階、個別の指導計画と授業等とのつながりなど、カリキュラムの総体的な可視化をしながら解説してはどうか。
- ・重複障害のある児童生徒の教科等の目標及び内容を変更する際の手続きを整理してはどうか。